

令和5(2023)年度第2回公の施設指定管理者選定委員会概要報告

柏崎市財務部財政管理課

- 1 開催日時 令和5(2023)年8月31日(木) 午後1時00分から午後4時20分まで
- 2 場 所 新潟県立こども自然王国、ワークプラザ柏崎、柏崎海洋センター(シーユース雷音)
柏崎市役所2-1会議室
- 3 出席者 ○選定委員(五十音順)
齋藤委員(委員長)、阿部委員、金子委員、橋本委員、吉田委員
○事務局(財政管理課)
荒川財務部長、星野課長、西巻係長、田邊主査
○施設所管課職員
(子育て支援課)石橋課長代理、常盤主査
(商業観光課)田辺課長代理、佐藤係長、中村主査、田村主査

4 概要

今年度に指定管理者の更新手続を公募で行う3施設について、現地見学を行った。その後、令和4(2022)年度実績に係るモニタリング結果の報告を行った。

5 委員会の要旨

- (1) 開会
- (2) 財務部長挨拶
- (3) 現地見学(新潟県立こども自然王国、ワークプラザ柏崎、柏崎海洋センター(シーユース雷音))
- (4) 報告

ア 令和4(2022)年度実績に係るモニタリング結果の報告について

《財政管理課から説明》

A委員： 事前質問の回答について確認したい。
田島活性化施設は、支出があった分を指定管理者が負担しているということか。

事務局： そうである。

A委員： 結の里とひだまりについては、共通按分経費により収支0円となるよう調整しているということか。

事務局： 共通按分経費は、結の里の正職員とひだまりの非常勤職員の人件費になるが、結果として収支0円となった。

A委員： 結果として収支0円はありえない。人件費は決まったものであり、調整しようがないはずである。収支0円になるよう、人件費を調整しているということか。

また、収支0円とする理由は何か。調整していると正確な収支が見えてこない。無理に収支0円にする必要はないと思う。令和3年度は収支0円でないが、なぜ令和4年は収支0円に調整したのか。

事務局： ひだまりについては、利用者がいないことから収支0円となった可能性がある。

A委員： 利用者がいても収支0円の年があるので関係ないのではないか。
共通按分経費として人件費を支出したからといって、こんなにうまく収支0円に調整できるのかと、何のために収支0円にしたのか教えていただきたい。

事務局： 詳細を担当課に確認し、改めて回答させていただきたい。

E委員： (委員からの) 事前の質問があつてシートを修正したか。

事務局： 今年5月末までに前年度実績に係るモニタリングを実施するため、その際にシートの改定を行った。

E委員： 回答にある、「今しばらくは、現在のシートを用いて～」はどういうことか。

事務局： 昨年度来からの委員の皆様からの御意見を基にシートを改定した経過がある。

今回はシートを改定し初めて行ったモニタリングになる。毎年度シートを変更するのではなく、今しばらくはこのシートを用いてモニタリングを行い、今後はモニタリング状況や皆様からの意見を参考に修正するか検討を行っていきたい。

C委員： 64 施設は設置目的や施設規模まで様々で一律に評価するのは難しいと感じるが、工夫していると思う。

毎年、シートや評価基準を変更してしまうと、時系列での把握が難しく、過年度との比較もできないため、ある程度はシートを持続して評価する必要があると思う。

6 閉会

7 委員会後の報告事項

結の里及びひだまりの収支差額が0円であることについて

<確認結果>

施設担当課（介護高齢課）から指定管理者へ収支に関する確認を行った結果、指定管理者（社会福祉法人柏崎市社会福祉協議会）の事業のうち、指定管理業務を含む公益事業の内部で、収支を調整したため、0円となった。

これを受け、指定管理者へは、以下のとおり指示します。

- ・指定管理業務に係る収入、支出を計上し業務の実態が見えるようにすること。
- ・共通按分経費により収支差額0円となるよう調整しないこと。